

開 議

○蒲生光男委員長 おはようございます。

これから決算特別委員会を開きます。

本日の会議に欠席の通告委員はございません。よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

それでは、去る3日の本会議において決算特別委員会に付託になりました決算2件及び関連議案1件について審査を行います。

審査日程につきましては、既に配付されております会議日程表のとおりでありますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、これから各会計決算及び関連議案の概要について説明を求めます。

認第1号 平成24年度長井市歳入歳出決算認定について

○蒲生光男委員長 まず、認第1号の平成24年度長井市一般会計歳入歳出決算について。

平 英一会計管理者。

○平 英一会計管理者兼会計課長 おはようございます。

それでは、認第1号 平成24年度長井市歳入歳出決算認定についてのうち、一般会計歳入歳出決算につきまして事項別明細書によりご説明いたしますので、決算書の49ページをお開き願います。

歳入でございます。

1款市税は、収入済額32億3,870万494円で前年度対比4.3%の増となり、予算現額に対する収入率は100.8%、また調定額に対する収納率

は95.1%で、歳入全体に占める構成比率は24.2%となりました。不納欠損額は1,400万4,807円で前年度対比45.0%減となっておりますが、地方税法の規定に基づき処分いたしましたものでございます。また、収入未済額は1億5,286万3,658円で前年度対比14.5%減となりました。

1項の市民税は、収入済額13億5,298万3,059円で前年度対比8.8%の増となりました。1目個人分で3.8%、2目法人分で29.6%の増となっております。

2項固定資産税は、収入済額14億7,717万1,670円で前年度対比2.2%増となりました。1目固定資産税では5.5%の減となりましたが、2目国有資産等所在市町村交付金で153.4%の増となり、2項全体では増となっております。

3項の軽自動車税は、収入済額6,548万1,462円で前年度対比1.0%の増、4項市たばこ税は、収入済額2億111万7,579円で前年度対比0.2%の増、5項入湯税は、収入済額213万1,900円で前年度対比2.3%の減、6項都市計画税は収入済額1億3,981万4,824円で前年度対比6.6%の減となりました。

次に、50ページをお開き願います。2款地方譲与税は、収入済額1億5,913万7,219円で前年度対比5.7%の減、予算現額に対する収入率は96.2%であります。1項自動車重量譲与税で8.2%の減、2項地方揮発油譲与税で0.8%の増となっております。

3款利子割交付金は、収入済額666万3,000円で前年度対比14.0%の減、4款配当割交付金は、収入済額342万9,000円で前年度対比4.8%の増、5款株式等譲渡所得割交付金は、収入済額95万3,000円で前年度対比9.1%の減、6款地方消費税交付金は、収入済額2億7,737万4,000円で前年度対比0.8%の減、7款自動車取得税交付金は、収入済額4,912万4,000円で前年度対比35.9%の増、8款地方特例交付金は、988万

1,000円で前年度対比77.7%の減、9款地方交付税は、収入済額44億8,730万4,000円で前年度対比1.3%の減となりました。この交付税のうち普通交付税が38億8,195万4,000円、0.1%の増、特別交付税は6億535万円で9.8%の減であります。

次に、10款交通安全対策特別交付金は、収入済額574万8,000円で前年度対比0.2%の減、11款分担金及び負担金は、収入済額1億5,323万8,715円、前年度対比1.5%の増となり、1項1目民生費負担金で1億5,210万4,429円など、52ページをお開きください。2項1目農林水産業費分担金で10万4,382円の収入済額となりました。

次に、12款使用料及び手数料は、収入済額1億3,204万4,947円で前年度対比1.3%の増となりました。主なものとしましては、1項2目民生使用料で3,592万9,580円、3目衛生使用料で1,359万5,792円、6目土木使用料で3,781万5,620円、7目教育使用料で1,023万5,215円などの収入済額となりました。54ページをお開きください。2項手数料では、1目総務手数料1,850万1,970円などが主な収入となっております。

次に、55ページ、13款国庫支出金は、収入済額13億6,793万1,514円で前年度対比2.8%の増となりました。主なものとしましては、1項1目民生費国庫負担金で9億3,301万4,629円、2目教育費国庫負担金で3,046万1,000円、56ページをお開き願います。2項2目民生費国庫補助金で1,609万9,000円、4目土木費国庫補助金で1億3,653万5,000円、5目教育費国庫補助金で2億2,938万7,000円などの収入でございます。3項委託金は951万9,885円の収入済額であります。

58ページをお開き願います。次に、14款県支出金は、収入済額9億1,645万3,916円で前年度対比2.0%の減となりました。1項1目民生費

県負担金で3億5,609万7,093円、2項1目総務費県補助金で3,037万6,947円、2目民生費県補助金で2億5,524万8,384円、60ページをお開き願います。3目衛生費県補助金で2,347万9,000円、4目農林水産業費県補助金で8,264万4,834円、62ページをお開き願います。5目商工費県補助金は7,043万2,837円、6目土木費県補助金は1,878万9,000円、7目教育費県補助金は1,211万6,979円、63ページになりますが、3項委託金では、1目総務費委託金で5,841万2,957円などが主な収入でございます。

ページが少し飛びますが、66ページをお開き願います。次に、15款財産収入は、収入済額2,769万2,917円で前年度対比19.2%の減となりました。1項1目財産貸付収入で2,028万3,664円、2項財産売払収入で639万5,398円などが主な収入でございます。

次に、16款寄附金は、収入済額436万9,830円で前年度対比51.9%の減であります。主な収入としましては、1目総務費寄附金で319万4,830円、3目教育費寄附金で101万円などでありませう。

次に、17款繰入金は、収入済額6,761万6,943円で前年度対比71.2%の増であります。主なものとしまして、1項1目国民健康保険特別会計繰入金2,052万2,943円、2項3目企業立地基金繰入金4,163万7,000円などでありませう。

68ページをお開きください。18款繰越金は、収入済額5億6,203万3,899円で前年度対比26.5%の増で前年度繰越金であります。

19款諸収入は、収入済額3億9,995万5,288円で前年度対比6.0%の減となりました。主なものとしましては、3項1目中小企業育成等貸付金元利収入6,000万円、4項1目雑入3億2,822万4,188円などでありませう。

次に、71ページをごらんください。20款市債は、収入済額15億1,768万4,000円で前年度対比48.6%の増となりました。増額の要因としまし

ては、72ページをお開きください。72ページ上段の小学校施設整備事業債や下段の公共土木施設災害復旧債の増額によるものであります。

72ページ最下段になりますが、歳入合計は133億8,733万5,682円で前年度対比で5.2%、額で6億6,515万6,542円の増となっております。

続きまして、歳出についてご説明いたします。

73ページをお開き願います。1款議会費は、支出済額1億8,578万5,819円で前年度対比では18.9%減であり、歳出総額に占める構成比率は1.4%となりました。減少の内容は、議員共済費の減と、それから前年度実施しました議場音響システム事業費の皆減などによるものであります。

2款総務費は、支出済額16億2,887万1,468円で前年度対比は25.6%の増となり、歳出総額に占める構成比率は12.6%となっております。

主な内容であります。74ページをお開き願います。1項の総務管理費は、支出済額13億1,308万8,834円で前年度対比34.6%増となっております。1目の一般管理費は5億4,141万1,368円で前年度対比4.1%の減、76ページをお開き願います。76ページの一番下になりますが、3目財政管理費は4億1,873万7,745円で535.2%の増と大きく伸びておりますが、これは財政調整基金4億円を新たに増額したことによるものであります。4目財産管理費は1億2,708万8,977円で前年度対比5.0%増となりました。78ページをお開きください。6目企画費は9,518万3,614円で前年度対比25.7%の増で、増の主な内容は、振興計画策定事業、ふるさと応援基金の増額、市営バス車両購入、国際交流事業、80ページをお開き願います。置賜広域行政事務組合分担金、コミュニティ助成事業助成金、地元農産物を活用した名産品づくり調査研究事業、ふるさと交流定住事業の増などです。7目行政事務改善推進費は7,418万9,955円で前年度対比7.1%の減となりました。83ペ

ージをお開き願います。10目長井ダム環境整備推進費は1,872万6,739円で前年度対比44.2%の減となっております。これは水資源活性化事業が縮小されたことによるものでございます。

85ページをお開き願います。2項の徴税費は、支出済額1億5,055万6,554円で前年度対比7.2%の減となりました。

次に、86ページをお開き願います。3項戸籍住民基本台帳費は、支出済額1億36万9,176円で前年度対比11.4%の増となりました。これは人事異動などによる職員人件費の増と戸籍電算化事業費の増などによるものでございます。

次に、4項選挙費は、支出済額3,484万4,870円で前年度対比2.1%の減となりました。選挙費につきましては、24年度は新たに山形県知事選挙と衆議院議員総選挙費が起きまして、山形県議会議員選挙費、それから長井市議会議員選挙費と長井市農業委員会委員選挙費が皆減となっております。

88ページをお開き願います。5款統計調査費は、支出済額1,019万8,594円で前年度対比6.5%の減、6項監査委員費は、支出済額1,981万3,440円で前年度対比10.0%の減となりました。

90ページをお開き願います。3款民生費は支出済額36億5,712万586円で前年度対比0.3%の増となり、歳出総額に占める構成比率は28.4%となりました。

1項の社会福祉費は、支出済額19億1,519万9,343円で前年度対比8.4%の増となりました。主なものといたしましては、1目社会福祉総務費、支出済額2億3,719万8,599円で前年度対比1.3%の増、2目障がい者福祉費は支出済額4億921万695円で前年度対比20.6%の増で、自立支援給付事業及び自立支援医療給付事業の扶助費の増などによるものであります。92ページをお開き願います。3目老人福祉費は支出済額10億6,024万1,720円で前年度対比7.6%の増で、

後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金の増額や介護保険特別会計繰出金、介護基盤緊急整備事業補助金の増額などによるものであります。94ページをお開きください。6目医療給付費は、支出済額1億6,021万5,730円で前年度対比0.7%の増となりました。

96ページをお開き願います。次に、2項児童福祉費は、支出済額13億6,376万7,751円で前年度対比10.9%の減となりました。主なものとしたしまして、1目児童福祉総務費で支出済額6億8,409万8,448円、前年度対比14.5%の減となりましたが、これは保育所施設整備費補助金が大きく減少したことによるものであります。98ページをお開きください。2目児童手当費は、支出済額4億4,893万4,552円で前年度対比11.2%の減、3目児童センター費は支出済額2億2,834万608円で前年度対比2.7%の増となりました。

100ページをお開きください。3項生活保護費は、支出済額3億7,815万3,492円で前年度対比8.4%の増となっております。主な内容は、2目扶助費で前年度対比10.7%、額で3,160万5,324円増加したことによるものであります。

次に、101ページ、4款衛生費は、支出済額9億9,428万9,992円で前年度対比は6.4%の減で、歳出総額に占める構成比率は7.7%となりました。

1項の保健衛生費は、支出済額2億9,413万7,772円で前年度対比12.5%の減となりました。主なものとしたしましては、1目の保健衛生総務費で、支出済額1億3,747万3,519円、前年度対比18.3%の減となっております。これは23年度まで衛生費でも措置しておりました自立支援事業費を24年度から3款民生費のほうにまとめたことによる結果でございます。102ページをお開きください。2目予防費は、支出済額6,392万5,411円で前年度対比8.0%の減となりました。

少しページが飛びますが、106ページをお開き願います。2項清掃費は、支出済額2億3,933万2,220円で前年度対比4.4%の減となりました。主な内容でございますが、2目衛生処理費の置賜広域行政事務組合分担金が減となったことなどによるものであります。

3項病院費は、支出済額4億6,082万円で前年度対比3.1%の減となっております。

5款労働費は、支出済額6,660万8,722円で前年度対比は33.3%の減であり、歳出総額に占める構成比率は0.5%となりました。減額の主な内容は、山形県労働者信用基金協会貸付金の皆減と指定管理者制採用により勤労センター費及び勤労青少年ホーム費を10款教育費へ移し皆減としたことによるものであります。

次、6款農林水産業費は、支出済額4億5,326万4,584円で前年度対比1.9%の減で、歳出総額に占める構成比率は3.5%となっております。

1項の農業費は、支出済額4億2,885万7,005円で前年度対比1.6%の減となりました。主なものとしたしましては、108ページをお開きください。2目農業総務費で、支出済額2億5,220万754円、前年度対比7.5%の増、3目農業振興費で支出済額4,833万9,029円、前年度対比9.9%の減、110ページをお開きください。4目水田農業対策費は支出済額1,401万1,002円で前年度対比270.2%の増ですが、これは戸別所得補償制度推進事業費が大きく伸びたことによるものでございます。111ページ、6目農地費は、支出済額6,384万6,013円で前年度対比17.5%の減、112ページをお開きください。24年度から新たに目を起こしました7目地籍調査事業費は、支出済額1,209万2,045円となりました。

114ページをお開きください。2項林業費は、支出済額2,440万7,579円で前年度対比6.2%の減となりました。

次に、115ページ、7款商工費は、支出済額4億5,574万3,162円で前年度対比6.2%増で、歳出総額に占める構成比率は3.5%となりました。

1項の商工費の主なものとしましては、116ページをお開きください。1項2目商工振興費で、支出済額1億7,524万7,622円、前年度対比で20.1%の減となりましたが、これは23年度に多く活用しました国等の各種補助事業が終了したためでございます。3目観光費は、支出済額8,586万9,069円で前年度対比5.3%の減、ページが少し飛びますが、120ページをお開き願います。4目企業振興費は、支出済額8,643万8,005円で前年度対比289.3%の増となりました。これは長井市企業立地促進等補助金の大幅な伸びや企業立地基金積み立てによるものでございます。

次に、8款土木費は、支出済額16億1,979万1,478円で前年度対比1.7%の増となり、歳出総額に占める構成比率は12.6%となっております。

1項土木管理費は、支出済額1,148万3,385円で前年度対比24.2%減となりましたが、調査業務委託料の減などによるものであります。

2項道路橋りょう費は、支出済額5億5,928万1,711円で前年度対比25.4%の減であります。主なものとしまして、1目の道路橋りょう総務費は、支出済額1,258万3,075円で前年度対比73.8%の減となりました。これは道路台帳整備事業費が減少したものであります。2目道路橋りょう維持費は、支出済額4億3,891万2,055円で前年度対比16.4%の減となりました。これは道路除雪事業費の減少や社会資本整備総合交付金事業、活力創造基盤整備分の減少などによるものであります。123ページをお開きください。3目道路新設改良費は、支出済額1億783万1,581円で前年度対比39.1%の減で、これも社会資本整備総合交付金事業、活力創出基盤整備分の減少と地方道路整備事業費の減少による

ものであります。

124ページをお開き願います。次に、3項河川費は、支出済額4,012万5,070円で前年度対比8.7%の減となりました。これは1目河川費で前年度対比13.2%の減、2目水のまちづくり推進事業費で6.5%の減によるものであります。

126ページをお開き願います。次に、4項都市計画費は、支出済額9億4,498万7,980円で前年度対比27.2%の増となっております。主な内容でございますが、2目公共下水道費で下水道特別会計繰出金の支出済額が7億3,156万円、前年度対比18.8%の増、3目公園費は、支出済額1億3,197万1,434円で生涯学習プラザ運動公園整備事業費の増額などにより前年度対比306.6%の増となりました。

128ページをお開きください。4目街路事業費は、支出済額2,218万6,200円で都市計画街路事業負担金単独分の増額により前年度対比500.2%の増となっております。

次に、5項住宅費は、支出済額6,391万3,332円で前年度対比53.2%の増となりました。主な内容としましては、2目住宅振興費で、支出済額4,266万5,613円、住宅新築、増改築に対する補助事業費の増額などで前年度対比62.2%の増となったことなどによるものであります。

次に、9款消防費は、支出済額5億6,737万3,410円で前年度対比1.9%の減、歳出総額に占める構成比率は4.4%となりました。主な内容でございますが、1項1目常備消防費は、支出済額4億6,181万374円で前年度対比3.7%の減、2目非常備消防費は、支出済額4,729万4,730円で山形県消防補償等組合負担金の減額などにより前年度対比13.7%の減となりました。130ページをお開き願います。130ページの下段になりますが、4目防災費では、支出済額3,826万5,785円で、防災行政無線整備事業の増額や地域支え合い体制づくり事業費の増額などにより前年度対比210.9%の増となっております。

131ページが一番下になりますが、10款教育費は、支出済額17億2,073万255円で前年度対比50.4%の増、歳出総額に占める構成比率は13.4%となっております。1項の教育総務費は、支出済額1億3,744万8,027円で前年度対比3.8%の減となりました。

132ページをお開き願います。1項の主な内容としまして、2目事務局費で支出済額1億3,468万1,113円、前年度対比3.9%の減などがあります。

134ページをお開きください。2項小学校費は、支出済額9億8,115万9,038円で前年度対比141.3%の増となりました。主な内容としまして、1目学校管理費で支出済額9億5,653万8,395円となり、学校施設管理事業費の増額や小学校耐震補強事業費の大幅な増額などで前年度対比158.3%の増となったものであります。

137ページをお開き願います。3項中学校費は、支出済額1億1,080万390円で前年度対比10.4%の減となりました。主な内容としましては、1目学校管理費で支出済額8,381万7,439円となり、23年度に実施いたしました中学校耐震補強事業や各種改修工事などのきめ細かな交付金事業の皆減などにより前年度対比17.8%の減となったものであります。

ページが少し飛びますが、140ページをお開き願います。4項社会教育費は、支出済額3億4,209万1,366円で前年度対比13.3%の増となりました。主な内容としまして、1目社会教育総務費は支出済額6,701万4,147円で前年度対比2.1%の増、2目生涯学習推進費は支出済額1,883万8,603円で、新たに勤労青少年ホーム維持管理事業費を計上いたしましたことから前年度対比566.9%と大幅な増となりました。142ページをお開きください。3目公民館費は支出済額7,844万393円、前年度対比5.1%の増、5目芸術文化費は支出済額2,490万5,656円で前年度対比13.7%の減となりました。145ページをお

開きください。7目置賜生涯学習プラザ費は支出済額で6,240万298円となり、生涯学習プラザ管理事業で各種設備改修工事等の増額により前年度対比32.2%の増となりました。

146ページをお開きください。5項保健体育費は、支出済額1億4,923万1,434円で、前年度対比11.8%の減となりました。主な内容でございますが、148ページをお開きください。2目体育施設費で、支出済額1,193万9,663円、前年度対比59.6%の減となりました。これは23年度に実施した白山森スキー場整備工事や武道館剣道場床改修工事費が皆減したことなどによるものであります。3目学校給食費は、支出済額9,164万8,389円で前年度対比3.3%の減となりました。

150ページをお開き願います。11款災害復旧費は、支出済額5,344万7,312円で前年度対比は576.9%の増、歳出総額に占める構成比率は0.4%となっております。1項農林水産業施設災害復旧費は支出済額392万円で前年度対比28.5%の減、2項公共土木施設災害復旧費は支出済額4,952万7,312円、前年度対比で1,950.8%の増となっております。この増は平成24年2月4日から3月31日までの低温による市道5路線の凍結災害復旧事業の支出であります。

次に、12款公債費は、支出済額14億8,443万5,325円で前年度対比は5.5%の減、歳出総額に占める構成比率は11.5%となりました。

13款予備費は、議決予算額2,000万円のうち928万276円を緊急を要する市税の還付金等に充用いたしております。

以上で、歳出合計は128億8,746万2,113円で前年度対比では6.0%の増となりました。

次に、実質収支に関する調書についてご説明申し上げますので、207ページをお開き願います。実質収支に関する調書の3の歳入歳出差引額は4億9,987万3,569円であります。その下の

下の段の5の実質収支額は、その上の4の翌年度へ繰り越すべき財源を差し引きました4億7,980万7,223円となりました。これが実質収支の額でございます。

以上が平成24年度一般会計歳入歳出決算の概要でございます。ご審査の上、ご認定賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○蒲生光男委員長 次に、認第1号の平成24年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び平成24年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2件について。

松本 弘市民課長。

○松本 弘市民課長 5年半ぶりの答弁席ということで大分緊張しておりますが、よろしくお願いいたします。

初めに、平成24年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明いたします。

歳入歳出決算書の12ページをお開きください。まず款ごとの決算額等についてご説明いたします。

歳入、1款国民健康保険税は、調定額9億1,737万9,729円に対し収入済額6億6,859万2,636円で、収入済額総額に占める割合、構成比は24.6%、収納率は72.9%となっています。調定額のうち2,271万5,868円を不納欠損処分いたしまして、収入未済額は2億2,607万6,025円となっています。予算現額と収入済額の比較では、1,359万4,636円の増となっています。

2款一部負担金につきましては、収入がございませんでした。予算現額との比較で11万2,000円の減となっています。

3款使用料及び手数料は43万700円で7万300円の減、4款国庫支出金は5億6,026万5,948円で4,449万6,052円の減、構成比は20.6%、5款療養給付費交付金は2億755万8,752円で6,046万2,248円の減、構成比は7.6%、6款前期高齢者交付金は6億1,039万5,020円で20円の増、構

成比は22.4%、7款県支出金は1億2,892万4,233円で1,371万9,767円の減、構成比は4.7%、8款共同事業交付金は2億7,511万4,249円で1,249円の増、構成比は10.1%、9款財産収入は13万2,000円で5万7,000円の増、10款繰入金は1億3,294万9,219円で6,651万2,781円の減、構成比は4.9%、11款繰越金は1億2,520万748円で589万9,748円の増、構成比は4.6%、12款諸収入は1,110万8,642円で749万5,358円の減、構成比は0.4%となっております。

歳入合計では、調定額29億6,945万9,240円に対し収入済額は前年度対比3.4%増の27億2,067万2,147円で、収入率は91.6%、予算現額との比較で1億7,331万5,853円の減となっております。

次に、歳出についてご説明いたしますので、14ページをお開きください。

歳出、1款総務費の支出済額は1,771万7,533円で、支出済額総額に占める割合、構成比は0.7%、予算現額から支出済額を差し引いた不用額は466万3,467円となっています。2款保険給付費は16億8,677万6,597円で不用額は2億8,074万3,403円、構成比は65.2%、3款後期高齢者支援金等は3億2,970万1,301円で不用額は699円、構成比は12.7%、4款前期高齢者支援金等は33万982円で不用額は1,018円、5款老人保健拠出金は13万2,075円で不用額は925円、6款介護納付金は1億4,939万511円で不用額は489円、構成比は5.8%、7款共同事業拠出金は2億7,658万9,450円で不用額は5,550円、構成比は10.7%、8款保健事業費は2,275万2,177円で不用額は68万16円、構成比は0.9%、9款基金積立金は7,000万円で構成比は2.7%、10款諸支出金は3,416万4,330円で不用額は1,050万8,670円、構成比は1.3%となっています。11款予備費からの支出はございませんでした。

歳出合計では、予算現額28億9,398万8,000円に対し支出済額は前年度対比3.3%増の25億